

A. 主な動き

1. 内政

▼与党連合A EIの動き

・11日、フィラト首相(自由民主党党首)は、国内有識者等との意見交換の一環として、ヴォローニン共産党党首との会談を実施。これに対し、ルプ大統領代行(民主党党首)は、自由民主党と共産党による連合形成の可能性を批判。

・12日及び13日、ストリレツ自由民主党議会議会派代表は、自由民主党は党の利益に反する妥協を行うことはできないとし、地方議会におけるA EI間の連合形成の署名は困難である旨発言。

・12日、フィラト首相は、国内有識者等との意見交換の結果に基づいた国民への呼びかけを発表。政府に被害を与えているのは共産党ではなくA EI政党間の攻撃及び妨害であるとし、共産党との対話の拒否がA EIの主な誤りのうちの一つである旨指摘。大統領選出に向け、全ての議会議党による共通の中立的な候補の推薦、もしくは憲法改正による国民投票の実施が必要である旨発言。

・13日、A EI評議会が開催。フィラト首相を含めた自由民主党代表者は途中退出。ハダルカ自由党議会議会派代表は、A EIが存在し続けていることを確認した旨強調。

・14日、フィラト首相は、より効率的な活動を目指す相互信頼の基本に基づいた新たな合意をA EI内で結ぶ必要がある旨発言。一方、ギンブ自由党党首は、ルプ大統領代行の大統領就任の支持を希望しないのであれば、フィラト首相は辞任すべきである旨発言。

・15日、ストリレツ自由民主党議会議会派代表は、準備不足等を理由に、同日予定されていたA EI評議会を19日に延期する旨発表。

▼野党・共産党の動き

・11日、ドドン前第一副首相兼経済・貿易相(共産党)は、フィラト首相との電話会談を定期的に行っている旨公表。共産党議員はボイコットを中止し議場に復帰すべきである旨発言。

・13日、ヴォローニン共産党党首は、自由民主党を含めたA EI各党との連立の可能性は考えていない旨発言。各地方の代表者によって構成される共産党人民評議会結成を発表。

▼キシナウ市議会選挙結果に関する動き

・11日、キシナウ市中央地区裁判所は、6月30日の中央選挙管理委員会によるキシナウ市議会選挙投票数え直し結果を認定、当初発表より議席数に変化はない旨確認。

・15日、自由党議員は、キシナウ市議会第一回会議をボイコット。3分の2の議員出席を定める定員規定に満たず、同会議は18日に延期。

▼その他

・12日、ルプ大統領代行(議会議長)及びディアコフ民主党名誉党首は、財政予算関連法案採択のための29日終了予定の議会議会期の8月までの延長の可能性に言及。

2. 経済

▼IMF

・13日、IMF理事会は、モルドバ支援に関する第3回レビューを完了した旨発表。これにより、モルドバは、IMFから5,000万SDR(7,900万米ドル相当)を引出可能。

▼モルドバ支援

・13日、EUは、2011年、モルドバのエネルギー部門の発展(再生可能エネルギー及び省エネの促進)及び司法改革(司法制度効率化のための新組織設立)のために7,860万ユーロを割り当てる旨発表。

▼農業

・14日、ブマコフ農業・食品産業相は、8月にロシア獣医・植物衛生検査局の代表団がモルドバを訪問し、果実・植物製品製造者を対象にした研修を実施予定と発言。

▼その他

・12日、30以上のビジネス協会は、フィラト首相に対して、経済・法制改革を机上の議論で終わらせることなく実行に移すべき旨要求。

・12日、国家登録協議会は、2011年上半年にモルドバで新たに登録された会社の数を対前年同期比300社増の3,560社と発表。

・15日、グーセフ・モルドバガス社長を団長とするモルドバ交渉団は、本年12月31日に失効する露天天然ガス価格契約に替わる新たな契約締結に向けての交渉を露側と開始。

3. 外政

▼13日、グリバウスカITE・リトアニア大統領の来訪

・フィラト首相は、グリバウスカITE・リトアニア大統領と会談、二国間関係、モルドバの欧州統合、沿ドニエストル問題解決プロセス等につき協議。フィラト首相は、リトアニアのモルドバに対する恒常的な支援に謝意を表明。グリバウスカITE・リトアニア大統領は、モルドバの政治的安定の重要性を強調。

・ルプ大統領代行は、グリバウスカITE・リトアニア大統領と会談、二国間関係、モルドバの改革実施状況、沿ドニエストル問題等につき協議。グリバウスカITE・リトアニア大統領は、EU査証廃止及びFTA合意の達成にはモルドバが課題をクリアーすることが必要、改革の実施に向けてモルドバ国内の政治的安定が重要である旨指摘。

▼その他

・15日、レアソカ外務・欧州統合相は、議会の外務委員会において、モルドバ・EU間の深化した包括的FTA創設交渉は2012年には終了する見込みと発表。

4 . 沿ドニエストル

・9日、ルプ大統領代行とヤヌコーヴィチ大統領は、沿ドニエストル問題は、モルドバの主権及び領土一体性を原則とし、沿ドニエストル住民の利益を考慮した上で、「5 + 2」者フォーマットの枠組みで解決されるべきと謳う共同声明を発表。

・12日、ルプ大統領代行は、最高安全保障会議において、沿ドニエストル問題解決に向けた戦略を今秋までに策定する方針である旨発言。

・12日、カルポフ国家再統合問題担当副首相は、ヤストレブチャク沿ドニエストル「外相」と会談、沿ドニエストルを通過する鉄道運行、ドニエストル川兩岸の固定電話通話の再開及

び専門家作業部会の総則等につき協議。

・15日、「革新」党中央会議は、カミンスキー沿ドニエストル「最高会議議長」を次期「大統領」選挙の候補者として承認。

5 . 防衛

▼NATO

・13日、マリヌツァ国防相は、ブリュッセル開催のNATO協議会に出席、軍事フォーラムにおいてモルドバ・NATO個別パートナーシップ行動計画の実施状況を報告。

・14日、マリヌツァ国防相は、NATO事務局長とワーキング会議実施、防衛分野等の平和プログラムのパートナーシップにおける、モルドバ・NATO間協力について意見交換。

▼独立記念日軍事パレード

・11日、マリヌツァ国防相は、8月27日の独立20周年記念軍事パレード用制服のため、240万レイ以上を計上と発表。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)